

かんたん工事写真帳 3 における 直接入力モードと間接入力モード との相違点についての解説



「かんたん工事写真帳 3」をお使いの皆様は、通常はこのような画面の表示状態で工事写真帳を作成しておられると思いますが、この表示状態は直接入力モードの時の状態です。

【直】と表示されている所をクリックしてみてください。

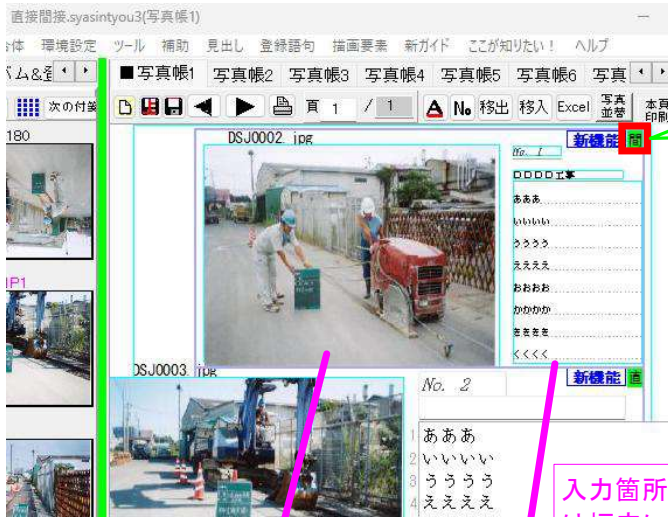


すると、今まで【直】であった所が【間】に変わりました。この表示状態が間接入力モードの表示状態であり、今表示されているこの画面に、画像、一行文字、多行文字、直線が既に存在しますが、これらだけでなく、別のコースで説明する他の諸描画要素も、この間接入力モードでは、追加したり編集したりすることができます。

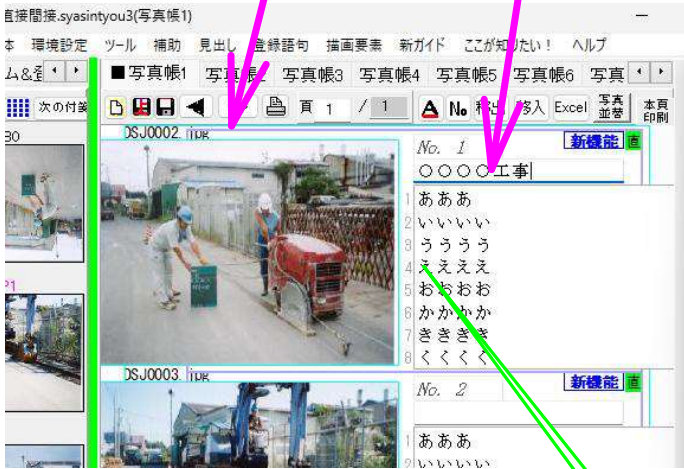
しかし、この入力モードでは、文字を入力する場合には先ず入力箇所でも右クリックしなければなりません。



そして、表示されたこの画面で文字を入力した上で、【OK】ボタンをクリックしなければなりませんので、文字入力に手間取ります。



【間】をクリックしてください。



画像は左に移動

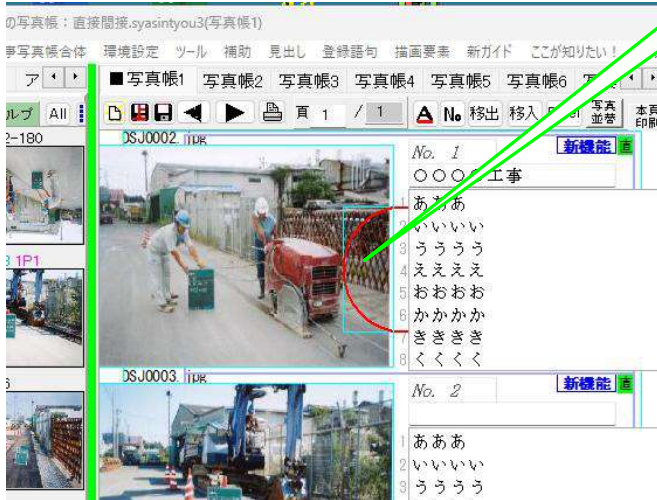
入力箇所は幅広に変更

すると、今まで【間】であった所が【直】に変わり、直接入力モードの表示状態に戻りました。この直接入力モードでは文字は直接入力できます。直接入力モードは、間接入力モードでは文字は直接入力できないという不便さを解消するために設けた入力モードです。

但し、直接入力を可能にするために、直接入力モードでは、入力箇所を実際より幅広くしています。幅広くしただけでは、文字入力箇所と写真が貼り付けられる箇所である画像とが重なってしまいますので、画像をこのように実際より左にずらしています。



ですから、例えば間接入力モードで、このように赤色の円を書き加えた後、【間】をクリックすると次のページのような表示状態になります。



直接入力モードになると、このように、赤い円がズレた位置に表示されます。印刷されるのは、直接入力モード状態のものではなく、間接入力モードの表示状態のもので、一見不具合と思われるこの現象は、印刷した時には起きませので、無視してください。

直接入力モードで円がズレた状態で印刷しても、間接モードの時と同じ印刷結果が得られます。

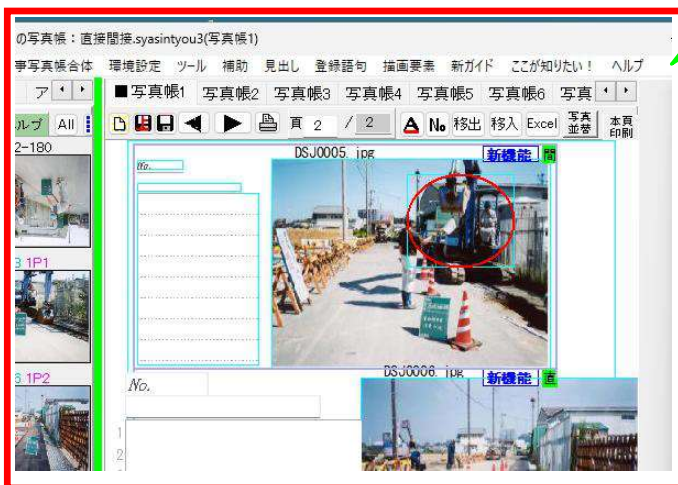
文字を直接入力モードで入力した後、間接入力モードに切り替えて、諸描画要素を追加したブロックについては、上記のズレが気になるようでしたら、直接入力モードに切り替えず、間接入力モードのままにしておいてください。

なお、偶数ページでは写真は右、コメントは左に印刷したい場合は、前以て、前もって以下の操作をする必要があります。

① 先ず画面左上の<表示>メニューをクリックします。

② 次に<<表面・裏面指定>>サブメニューを選択します。

③ その上で、このサブメニューの所をクリックします。



上記の操作をした後では、偶数ページでは、このように写真は右、コメントは左の状態が表示されますので、この状態で諸描画要素を追加します。

このようでない表示状態で諸描画要素を追加すると、印刷した時に、諸描画要素がズレた位置に印刷されますので注意してください。

以上でこのコースの説明を終了します